



今月の内容：

今月のトピックス／南会津再発見（檜枝岐村・4つの滝）／特集（農業制度資金の対応について）／農林事務所からお願い・お知らせ／今月のコラム／研修会・講習会等お知らせ

今月のトピックス

早すぎた大雪

早すぎた10月の降雪が南会津地方に大きな農業被害をもたらしました。10月28日深夜から降り出した雪は翌29日昼頃にかけて激しく降り続き、若松測候所によれば、この28日の初雪はこれまでの記録、1986年の10月30日を抜く、観測史上最も早いものとなりました。積雪量は檜枝岐村で16cm、南郷村で12cm、只見町で5cmとなっておりますが、実際に被害調査を行っている時には各地で20cmを越える積雪がありました。29日未明からJA会津みなみの職員および南郷トマト生産組合の役員を中心に電話連絡を行い、各町村では防災無線を通じて、施設のパイプ倒壊を防ぐためビニール被覆の切り外しを指示し、生産者は未明から雪下ろしやビニールの切り外しを行いました。しかし、着雪量が多く作業に手間取り、多くのハウスが倒壊の被害に見舞われました。パイプハウスの倒壊は340棟、被害面積で8haにおよび、ある青年農業者のところでは24棟すべて倒壊するなど、経済的・精神的な被害は甚大であります。ハウス内には収穫期終盤の南郷トマトやリンドウ等の切り花が残っており、果樹では収穫前のふじを中心としたリンゴ・クリの枝折れ、水稻、大豆、そば等の施設以外の作物にも被害が多く発生しました。その後11月9日にも再び降雪があり、田島町、下郷町を中心にパイプハウス等の施設被害、リンゴ・ブドウ等の枝折れ被害が発生しました。

これらの被害を受け、JA会津みなみでは直ちにボランティアを呼びかけ、倒壊パイプハウスの撤去作業が行われました。作業は11月1日から開始され、道具と弁当持参で参加した多くのボランティアの方々は、風雪で手のかじかむ中作業を行い、11月9日までには



まだ10月(!)なのに降りすぎる大雪



折れてしまったりんごの樹

すべての倒壊パイプハウスの解体整理が終了しました。南郷トマトは生産者のみでなく多くの地域住民、各関係機関団体の情熱と助け合いの精神により成り立っている産地であると再認識しました。（農業普及部）

「下郷町林業振興協議会」知事賞受賞!!

平成14年10月26日（土）に郡山市のホテルバーデンにおいて、第53回福島県林業コンクール等の表彰式が行われました。

これは、第27回福島県林業祭の関連行事として行われたもので、南会津管内からは森林整備技術の向上やきのこの生産・販売等を会員一丸となり取り組んでい

る下郷町林業振興協議会が福島県知事賞を受賞したほか、一覧のとおり多数の方が表彰されました。

授賞式では、受賞者を代表して下郷町の玉川真吾さんに表彰状が授与されました。続いて、下郷町林業振興協議会会長の大竹孝さんが受賞者を代表して、「受賞を契機に努力を重ね、森林・林業の振興に一層励んでまいります。」と決意を述べ、今後の活動への意欲を示しました。（森林林業部）

■今回受賞した皆さん

○第53回福島県造林コンクール

- ・造林部門
県森林組合連合会長賞 下郷町 渡部儀一
- ・間伐技術部門
社団法人県林業協会会長賞 下郷町 玉川真吾
- ・林業研究グループ部門
福島県知事賞 下郷町林業振興協議会

○平成14年度学校関係緑化コンクール

県学校緑化推進委員会会長賞
館岩村立館岩小学校

○福島県キノコ品評会

- ・なめこ・ひらたけの部

- | | | |
|----------|-----|-------|
| 県経済連会長賞 | 下郷町 | 星源一 |
| 県森連会長賞 | 只見町 | 長谷川達海 |
| 県林業協会会長賞 | 下郷町 | 加藤勝弘 |
| 奨励賞 | 伊南村 | 河原田雄作 |

教職員による森林施業のボランティア

去る9月11日と10月31日の2回にわたり、南会津地方の小中学校の教員により森林整備のボランティアが行われました。

これは、教員が学校教育以外にも視野を広げ地域社会との連携を図ることができるよう実施されている、小中学校経験者研修における社会貢献体験研修の1コースとして行われたものです。森林整備のボランティアは、環境問題の認識を深めることを目的として平成10年度より行っており、今年で5回目を迎えます。

1回目の9月11日は、下郷町の観音沼森林公園において、森林施業や次代を担う青少年に対する森林林業教育の必要性について理解することを目的として行われました。午前中に周辺の森林の整備を行い、午後からは「ふくしま・もりの案内人の会」会長であり、福島県林業普及指導協力員でもある堺英七さんを講師として野外活動教室が行われ、学校教育において自然観察会を行う際の留意点を学びました。

2回目は10月31日に下郷町中山にある南原県行造林



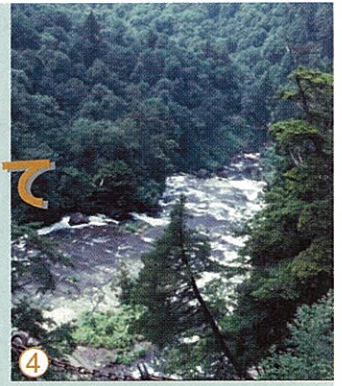
今回受賞された方々です。

において除伐や間伐等の作業を行いました。作業は機械を用いず、のこぎりやカマ、ナタなど人力のみで行われ、研修を受講した4人の先生方は、秋晴れのカラマツ林で大粒の汗を流していました。(森林林業部)



南会津再発見

檜枝岐村の「4つの滝」について



檜枝岐の「4つの滝」です。どれがどの滝だか分かりますか？

(檜枝岐村産業観光課)

檜枝岐村の面積は390.5km²であり、そのうちの約98%が林野という地形です。

周りは会津駒ヶ岳・燧ヶ岳・帝釈山・黒岩山など2,000m級の山々に囲まれており、大自然の村です。

その中に、当村を代表する4つの滝があります。

- ①国道352号線を御池(みいけ)方面に向かう途中にあり、名前の由来に平家落人伝説を偲ばせる「モーカケの滝」
- ②国道352線から会津駒ヶ岳へ向かう村道駒ヶ岳線(滝沢登山口)、会津駒ヶ岳登山口へ向かう途中から2

段に分かれて落ちる白糸が、山水画の美しさそのものといわれる「竜ノ門の滝」

③尾瀬の水を集めた只見川の本流を一挙に落とし込む、高さ100m・幅30mの「三条ノ滝」

④全国でも珍しい滝として、川床の一枚岩を長さ500m、幅50mにわたり滑るように流れる「平滑ノ滝」これらの滝は風光明媚に富んでおり、壮大かつ優美な風景はまさに天然アートと言え、訪れる人々を魅了しています。みなさんも一度体験されてはいかがでしょうか。



雪害で被害を受けた 農業者の皆様へ

～農業制度資金の対応について～



平成14年10月28日～29日にかけての大雪により、南会津地方においては、園芸用施設（パイプハウス）を中心に倒壊などの雪害が発生し、被害額は約8,200万円に達しております。

この度、雪害にあわれました農業者の皆様には心から御見舞いを申し上げます。

今後、施設の再建を図り来年度の生産を確保するためには、できるだけ早い時期に施設を整備することが必要であります。

また、今回の被害農業者の方に対しては、補助事業や共済金の支払い等が措置されるものと考えられますが、施設の耐用年数等の関係で再建に必要な資金を確保することが困難な場合も予想されます。

そのような場合には、再建のために制度資金を利用することができます。（下図を参照して下さい。）

なお、詳細につきましては、南会津農林事務所農業振興部振興課（電話0241-62-5253）まで御連絡下さい。（農業振興部）

平成14年10月28日～29日発生 of 雪害による被害について対応できる制度資金（平成14年11月29日現在）

資金名	目的	農舎・ハウス等の整備	災害対策資金	貸付限度額	償還期限 (据置期間) (年)	貸付利息(年%)		備考
						認定農業者	その他 担い手	
農業近代化資金		○		個人1,800万円	認定農業者 原則 15(7) その他担い手 原則 15(3)	0.325～0.525 ※1	1.3 ※2	※1は認定農業者 ※2は認定就農者及び その担い手
農林漁業金融公庫資金	スーパーL資金	○		個人1億5,500万円	25(10)	0.95～1.3		認定農業者のみ
	経営体育成強化資金	○		個人1億5,500万円	25(3)		1.3	認定農業者以外の担い手
	農業経営維持安定資金	○	○	個人200万円	20(3)	0.95～1.3		農業を営む者(主業農業者等)
農家経営安定資金	小災害資金		○	300万円	5(1)	1.3		農業を営む者
	農業経営高度化資金	○		500万円	7(1)			
	中山間地域経営維持資金	○		500万円	7(1)			

農林事務所からお願い・お知らせ

- ①「南会津グリーン・ツーリズム推進大会」
- ②「南会津地方園芸特産振興大会」
を開催します！

(地域農林企画室・農業振興部)

12月18日(水)、田島町の建設会館において2つの講習会を開催します。

一つは「南会津グリーン・ツーリズム推進大会」。これは、最近全国で取り組みが進んでいる「地域みんなで取り組むグリーン・ツーリズム」について、先進地で実際に取り組んでいる方にその事例を紹介していただくものです。

もう一つは、「南会津地方園芸特産振興大会」。こちらは安全・安心な農産物の生産や、多様化する農産物の流通・販売形態などの問題に取り組んでいる優れ

た取り組み事例を紹介していただくものです。

話を聞いてみたい方は、あらかじめ南会津農林事務所(①地域農林企画室：電話0241-62-5866/②農業振興部振興課：電話0241-62-5253)にお申し込みの上ご参加下さい(どちらか1つの講習会のみ参加もできます!)

〔南会津グリーン・ツーリズム推進大会〕

日時：平成14年12月18日(水) 9:30～12:00

場所：田島町建設会館(田島町大字田島字大坪13-1)

講演内容(予定)：

「『尾瀬を舞台とした』A片品村のグリーン・ツーリズム」
～地域が取り組むグリーン・ツーリズムについて～

群馬県J A片品村旅行センター長 永井光雄氏

(4ページに続く)

(3ページから続く)

〔南会津地方園芸特産振興大会〕

日時：平成14年12月18日（水） 13:00～16:00

場所：田島町建設会館（田島町大字田島字大坪13-1）

講演内容（予定）：

1. 「農を中核とした地域づくり～専的農業・中高年・女性・新規参入者のそれぞれの機能分担による総合

相対複合取引の実践～

群馬県畜産加工販売農業協同組合連合会（前JA甘楽富岡営農事業本部長） 黒澤賢治氏

2. 「青果物の流通と消費者動向について」

JA福島経済連園芸部長 梁川英臣氏

3. 「環境にやさしい農業を考える～南会津のエコファーマーの取り組み」

エコファーマー 湯田浩仁氏(田島町)

今月のコラム

あなたも700本の木を 育ててみませんか！

今日、課題となっている地球温暖化対策をはじめとする地球環境問題から森林が見直されてきているが、森林は都市への人口の集中により、人々の日常生活から次第に遠い存在になりつつあるといわれている。森林の中にあるといってもよい南会津でもいつのまにか森林は遠くから眺めるものという状況になってきているし、生活様式の変化等から木材・木製品が次第に身の回りから遠ざかってきていると感じているのは私だけだろうか。

県では、今年度から「地産地消」を進めるため種々の施策を行っているが、私ども森林林業部では公共工事に地域から生産される木材を使用している。従

前から使用してきた杭木等はもちろん、落石防止工の緩衝材や治山ダムの型枠材として使用している。また、使用に当たっては、南会津に多いカラマツの間伐材を使用している。今年の工事の中で使用した木材の量は約1000㎥と南会津で年間使用される量の約2%に過ぎないが、適切な木材の利用が森林の適切な整備につながり、ひいては森林の多面的機能の維持に寄与でき、大気中の二酸化炭素を固定し地球温暖化の防止に貢献できるのである。

人1人が1年間に排出する二酸化炭素を森林が吸収するには約700本の木が必要であるといわれている。単に木を植えたから健全に木が育つわけではない。木を育てる過程では下刈り、除伐、間伐といった作業を適切な時期に行う必要があるのだが、木材が利用されないとこうした作業が進まなくなり、十分な効果が発揮されないことになる。

まずは、木材・木製品を使用することで、あなたも地球温暖化防止に参加してみませんか。木材・木製品を使っただくことで、あなたも700本の木を育ててることができるのです！

（森林林業部長 船木 秀晴）



～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
-----	-----	-----

- | | | |
|-------------------------|---------------------|--------------|
| ①特産物PRと直売のためのホームページ作成利用 | 1月20日（月）
～21日（火） | 農業短期大学校（矢吹町） |
| ②餅の保存方法・包装資材 | 1月22日（水） | 農業短期大学校（矢吹町） |
| ③トラクタ保守点検整備 | 1月28日（火）
～29日（水） | 農業短期大学校（矢吹町） |

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 TEL 0241-62-5866
農業普及部 TEL 0241-62-5262



あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

E-mail minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真

(撮影:齋藤(敏))

霜が降りた朝 (田島町田島)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。

PRINTED WITH SOYINK™